

ボーイ隊1泊2日のキャンプ 2008.5.17~18 & 団行事スカウト募集各隊参加集会 2008.5.18



1・2・3・4 おや？小娘スカウトが1人多くねーか？ そうなんです。ボーイ隊が6名に。これは幸先が良いぞ！



さっそく、テントの準備を開始。



じゃーん！ テントサイト完成である。インディアンテントもお出ましじゃー！



国旗降納。これよりディナーの準備にかかれ！



だれだ？ このネズミ男みたいなのは？



あーだ。こーだ。水が多いだの。飯が焦げたの。でカレーが完成。出来はうーん、ちょっとおまけして75点なり。



中辛と大辛カレーをおいしく頂きました。



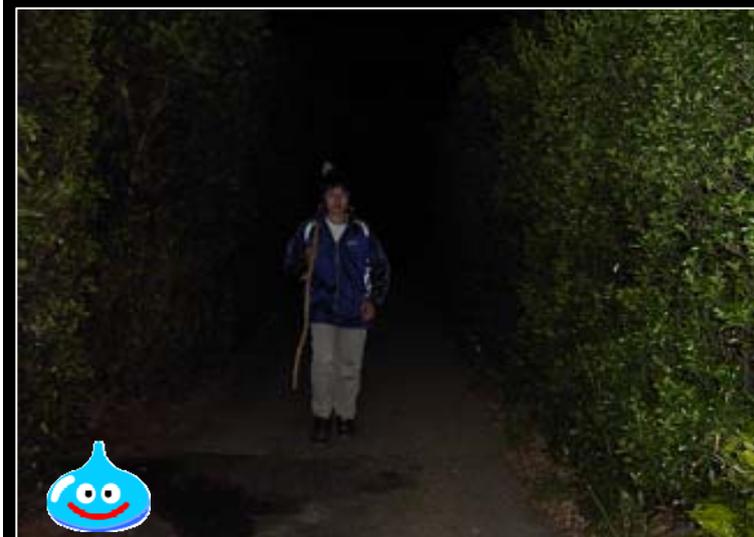
これより、ナイトハイクに出発です。交通事故防止のため安全ベストを着用しています。



記者は、焚き火をしながら、テントサイトの留守番です。炎を見ていると落ち着きますねー。



班長を先頭び行進中。スカウトファームへ裏道から向かいます。もちろんお墓のあるお寺の境内を通過して、お墓のある畑へ向かうことになります。



注意！「ドラクエの音楽を思い浮かべながらお読みください」勇者である班長？がクネクネの班旗(通称:魔法の杖)を、敵の出現に注意しながら進んでいます。



でも、突然暗闇からこんな光るものが出てきたら普通びっくりするであろう。恐るべし安全ベストの威力なり！

これらのナイトハイクの写真は、いつものように先回りして驚かそうと思ったボーイ隊長によるものです。

*ただし、カブ隊の頃からの手口なので、スカウトたちにはお見通しである。

*隊長:「なにかあったら、この魔法の杖(班旗)を使うのだぞ！」班長:「出た。またドラクエだ」たぶん班長はビーバー時代から聞いているので、7・8年間かされいていることになると思われる。



起床である。朝6時の風景。夜半から雨が降り始め、朝方には一時ザー・ザー降りになりました。おかしいな、晴れ男のボーイ隊長がいて、雨男のカブ隊Y副長が来ていないのに雨とは・・・



今回の水場周辺。使用する水はポリタンクで対応です。



14NJ(能登の日本ジャンポリー)で、外国のスカウト関係者に「Good Job!(良い仕事だ!)」と絶賛だった食器棚である。*本来であれば竹などを用い、ロープワークで作成するのが基本ではあるが、コンテナより機材を降ろすための脚立を有効活用した作品である。



起床時間になっても、なかなかテントから出てこなかったのので「渴!」を入れられている娘スカウトたち。朝礼のあとは、スカウト・ウォンを行います。*班長はきちんと時間通りの起床である。やはり、訓練の賜物か!



朝食は、キャンドルドック(牛乳パックを使用したホットドック。カードドックとも言う)*「おれたちの牛乳」とは、すごい名前の商品だ。実は我が家のものであった。記者は、昨晚の残りのキムチいっしょに入れてみたが、これがかなりいける。命名「コリアンドック」なり。



予定時間が遅れているので、「さっさと食べ」と催促されている娘スカウトたち。でも、マイペースである。(牛久だけあって牛歩である)*入隊1年目(一人は昨日)なので、しょうがないといったらきりが無い。今後を厳しく見守ろう。



「この人は誰？」「副育成会長っすか？」「この方をどなたと心得る！東京消防庁初代レスキュー隊長であられるぞ！」「へへーっ」牛久市少年少女発明クラブでも活動、絵も描かれています。「瑞宝単光章」も叙勲されている。まさに文武両道である。

これが、実際のレスキュー隊が使用するカラビナである。安全性を向上させるため、ネジ式を追加した二重ロック式である。これより、班長とモンキー・ブリッジ作りを開始します。我が団にはすごい人がいたもんだ！



ボーイ隊長が、さっそくPE-PAL6月号のハンモックを作成。スカウトの妹ちゃんも楽しそうである。注意！腹回り85cm未満限定。M副長とY副長は乗せてくれないそうだ。残念！

カブ隊は、各隊旗の準備のお手伝い。おや？この坊主頭の子は誰だっぺよ？この場で活動していると良く見かける子じゃが？



ビーバーも揃い、全体での集会となります。この日、団長と育成会長は、県連の総会出席のため不在です。育成会長は、長年のスカウト活動に貢献されたことを県連より表彰されたそうです。おめでとうございます。

全体でのセレモニー。新入スカウトの入隊式です。ここで初めてチーフをもらいます。こちらもおめでとう。



ビーバー隊が集合。なんだかやけに体験者が多いぞ。このあとまだまだ増えて、現行スカウトの3倍の子供たちが来ました。

黒山の人だかり。この催しはなんじゃ？
答えは次のページで！。



こちらは、ビーバー隊の「においきムス」。我が家の「犬の鼻を持つスカウト」の成果いかがかかな？ 鼻が利きすぎるらしく、特にアンモニア臭に弱くペットショップで良く吐きます。

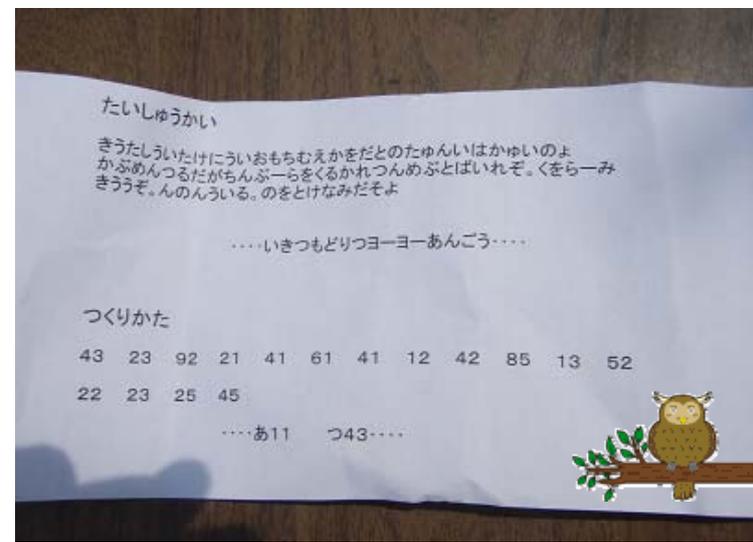
副育成会長と、ボーイ隊班長でブリッジを作成中。作業が輻湊し隊長と記者は、結局手伝えなかった。班長申し訳ない。でも、ロープワーク技術は向上したであろう。



カブスカウトは、まずは、今回のプログラムの内容を書いた暗号を解きます。

「これは、こうで。こうなって、あれ？」「意味わかんない！」簡単に解けるわけがない。隊長はそれなりの時間を計算して、プログラムを組み立てているのだ。





ちょっと見づらいですが、これが、カブ隊の暗号です。さーて、みなさんは、解読できるかな？



黒山の人だかりの正体は、「旧里美村産オタマジャクシすくい」でした。ビーバー隊長が実家から卵を持ってきたそうです。ちなみにスカウト田んぼにもいっぱいいるぞ！



モンキーブリッジ完成！ まずは、班長が安全性を確認します。



「ワーイ！気持ち良ーい！」ハンモックは大評判であります。



久々の大型新人(小2ですが、カブスカウト並みの高身長です)ビーバー隊入隊決定！おめでとう！手にはバブロケット。あと、1粒で2度おいしい。双子の男の子が入隊予定！またまた、おめでとう！まだ、入隊希望者がいるとのことですが、記者はあまりの多さに確認不能である。ビーバースカウトの弟くんや、妹ちゃん(ヒヨコスカウト)も入り混じり、副団委員長曰く「こんなに大勢小さい子を見たのは久しぶりだ」で、大盛況でミニカブ・ビーバーラリー状態です。



*バブロケットの作り方は、①フィルムケース(絵などを自由に書く)に入浴剤のバブを入れる。②そこに水を適量入れる。③フタをキッチリ閉めて、数回振る。④フタを下にして地面に置く。⑤数秒待つ。⑥炭酸ガスが発生して充満すると発射！「ポーン！」*でも、ロケットは簡単に作れても、このデジタル化時代に、フィルムケースを入手するのはかなり難しいと思われる。



ボーイの娘隊は、なにやら粉物を仕込んでおります。なにがでぎんのかな？

こちらは、カブ隊。牛乳パックでブーメランを作っています。グルグルと、あちこちのプログラムを取材していると目が回る。記者も前日からのキャンプで寝い。こんな時、Y副長がいたら良いんだが。



本日のメインイベントに、まずは、ビーバー隊が挑戦。なかなか度胸があって良いぞ！

体験の女の子も挑戦です。転落防止の安全帯とヘルメットは必需品です。安全はすべてに優先する。



地面から下のロープまでの高さは、約2メートルです。実際に上に上がるとかなり高く感じます。でも、2人とも頑張って渡っていきます。上のロープとの間隔がちょっと広がったかな。元レスキュー隊長は、お猿さん(クモザル)のようにスイスイ渡っていきます。



←気分はこんな感じである



でっかい蚊ではありません。焼き物用の炭をおこしている情景です。火吹き竹はお手製です。

カブスカウトも、モンキー・ブリッジに挑戦です。この顔が笑っているのか、引きつっているのかは、本人に確認してください。



左側は、女子スカウトである。かなりやるぞ。中央は、体験くん。このあと入隊決定！ またまたまたおめでとう！ 左側は、隊長がロープを揺らしているわけではありません。揺れるのを防いでいるのである。



左側は、準備体操しているのでありません。「こうやって、手を大きく開くんだー。下を見るんじゃない」と指導しています。でも、下を見ないとどうやるかわかんねーよ！
右側は、高いところが苦手なスカウト。でも、頑張ってみごと自己最高記録を更新。これも、おめでとう！
実は、M副長も胸を張って自慢できる、立派な高所恐怖症である。人間みな得意・不得意があるもんじゃ！
「アツ・ハツ・ハツ・ハ。ハーア」
*笑ってごまかすM副長であった。





娘スカウトたちが仕込んでいたものは、ツイスト(スネーク)パンと、シシカブーでした。これがいけるのなんの。大好評であった。



ビーバー・カブが解散したあとに、テントサイト撤収開始の
はずが、燃え尽きた娘スカウトたち。動くのは口だけであつた。



隊長よりの訓示。「# \$ % & * ! + - , / ~ ♀ ∞ ” ¥ § @ * % ¢ \$ 」文字化けではない。良く聞いていなかっただけである。



国旗降納。これで終了である。ごくろうさん。次からは、朝ちゃんと起きろよ！

そこでスカウトをスカウトすっべヨ！

**「ひとりでも多くの青少年にスカウト活動を」
顕彰バッジ「友情バッジ」授与について**

スカウトが友人知人等をボーイスカウト活動に参加させる活動を奨励し、貢献したスカウトに顕彰バッジである「友情バッジ」を贈るというものです。

顕彰バッジ授与対象者

スカウト（指導者は顕彰バッジ授与対象者としません）

顕彰バッジの種別

- 銅色友情バッジ** 1名以上のスカウトを入隊させた者
- 銀色友情バッジ** 3名以上のスカウトを入隊させた者
- 金色友情バッジ** 5名以上のスカウトを入隊させた者



今年ボーイに上選したM田さんが付けています

【銀色及び金色友情バッジは、すでに授与済みバッジの対象人数を過算して当該バッジを授与することができる】

ところで、入隊希望者が何人いたのでしょうか？ 入る入らないは別にして大勢の子供たちが来てくれて本当に良かったです。これからも定期的に、今回みたいなイベントを行いましょう。スカウトたちは、20周年式典の時の大型ソーメン流しを、またやりたいと言っておりますぞ、団委員長殿。

～ これらのページの写真(一部ナイトハイクはボーイ隊長による)と文は、カブ隊M副長によるものです。～